

H26 年度 セミナー 8/28 (木) 開催 参加者 募集!!

2014年8月28日 (木) 応用生態工学会札幌セミナー 『本来の川を取り戻すために…その9』

主催：応用生態工学会札幌
共催：(独)土木研究所 寒地土木研究所
協力：国土交通省 北海道開発局

川のResizing

応用生態工学会札幌では、昨年度、「水・土・緑（生物）をレジームで捉える」をテーマに、「レジーム（体制、仕組み、基本構造）」といった大局的な見方で、砂礫河川のメカニズムや再生に向けたシンポジウムと現場視察（十勝川水系札内川）を行いました。

今年度は、自然や社会のシステムが大きく変化していることを認識し、かつ、今後の変化を見据えて、“resizing”をキーワードに自然再生や河川管理の在り方について考えていきます。例えば、土地利用、流況や土砂供給、河畔林の生育条件…等々が変化した現代（変化するであろう未来）の「川の形状」を話題にします。

恒例の水路実験も行います。

①午前の部：水路実験 10:00～11:30

寒地土木研究所 第4実験棟／札幌市豊平区平岸1条3丁目 [地下鉄中の島 徒歩5分]

実験会場には駐車スペースがありませんので、公共交通機関等のご利用をお願いします。

○9:30～ 受付開始

○10:00～11:30 水路実験

池田 宏 さん(元筑波大学教授)

*土砂（量・粒径）や流量が変化したとき、川の形状はどうなるか？

*川の形状を変化させたとき、土砂はどのように運搬（堆積）されるか？

等の実験を企画しています。

③懇親会 18:00～20:00 (予定)

会費 4,500 円 / 一人

場所：ロイトン札幌 札幌市中央区北1条西11丁目
[シンポジウム会場から徒歩2分]

参加費 3,000 円 / 一人 (学生無料)

定員：120名

※午前、午後のみ参加も3,000円です(懇親会費4,500円別途)。

※先着順ですので、定員に達し次第締め切ることがございます。

申込締切

8/25
(月)

②午後の部：セミナー 13:30～17:45

札幌市教育文化会館／札幌市中央区北1条西13丁目 [地下鉄西11丁目 徒歩5分]

司会進行／船木 淳悟 (土木研究所寒地土木研究所寒地河川チーム上席研究員)

●13:30～ 挨拶／基調講演者の紹介

中村 太士 (応用生態工学会札幌代表)

●13:30～14:30 基調講演

「次世代に語り継ぎたいこと」

尾田 栄章 さん(渋谷川ルネッサンス代表/旧建設省元河川局長)

●14:30～14:40 休憩

●14:40～15:10 趣旨説明

「川のリサイジング」

中村 太士 代表(北海道大学大学院農学研究院 教授)

●15:10～16:40 講演(各30分)

「河道掘削による流下能力の確保と氾濫原環境の再生、その効果と課題(仮)」

萱場 祐一 さん(土木研究所河川生態チーム上席研究員/自然共生研究センター長)

「河川における物理構造と各種生態系機能・サービスの定量化(仮)」

根岸 淳二郎 副代表(北海道大学大学院地球環境科学院 准教授)

「北海道開発局の河川環境保全への取り組み」

岡部 博一 さん(北海道開発局河川計画課 課長補佐)

●16:40～16:50 休憩

●16:50～17:45 総合討議

コーディネーター：中村 太士

各講師 (尾田さん、池田さん、萱場さん、岡部さん、根岸さん)

●17:45～ 挨拶／閉会

浜本 聡 (土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ長)

※③懇親会 18:00～ ロイトン札幌

■参加申込：E-mail のみ 勝手とは存知ますが、事務の簡素化のためメールのみの受付とさせていただきます。

E-mail → sapporo.nakamuraken@gmail.com

近藤 綾佳 (北海道大学大学院農学研究院 森林管理保全学分野 森林生態系管理学研究室)

《申込記載事項》

(1) 送信タイトル：【応用生態工学会札幌セミナー参加申込】

(2) メールには以下の内容を記入してください。

①氏名・フリガナ・性別 ②所属先 ③連絡先(所属先・自宅の別を明記の上、郵便番号・住所・TEL・メール) ④参加申込事項(午前の部、午後の部、懇親会) ⑤合計参加料 ⑥申し入れ事項(貴機関の経理上請求書等が必要、事前振り込みが困難、当日に領収書が必要 等ありましたらご記入ください)

◆参加料振込み◆

事務部からの受付完了の連絡を受けてから

8/26 (火) までにお振込ください。

指定口座

銀行名 北洋銀行 北七条支店
口座名義 応用生態工学札幌 中村太士
口座番号 (普通) 3787550